

# 登録速報（適用拡大）

農 薬 名：ファーストオリゼプリンス粒剤6

登 録 番 号：第22359号

適用拡大登録日：平成22年5月26日

適用拡大登録内容：農薬登録申請書第7項中、

- 1) 使用時期「は種時（覆土前）」に適用病害虫名「白葉枯病」を追加する。
- 2) 使用時期に「は種前」を追加し、適用病害虫名を「いもち病」、「いねズグウムシ」及び「いねトイムシ」とする。

## 【変更前】

作物名	適 用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使 用 回 数	使用方法	フィプロル を含む 農薬の総 使用回数	プロベナゾ ールを含む 農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 いねズグウムシ ウカ類 いねトイムシ カメイユウ イゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	は種時 (覆土前)	1 回	育苗箱の 床土に均一に 散布する	1 回	2 回以内 (育苗箱へ の処理及び 側条施用は 合計 1 回以 内)

## 【変更後】

作物名	適 用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使 用 回 数	使用方法	フィプロル を含む 農薬の総 使用回数	プロベナゾ ールを含む 農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 いねズグウムシ いねトイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	は種前	1 回	育苗箱の 床土に均一に混和 する	1 回	2 回以内 (育苗箱へ の処理及び 側条施用は 合計 1 回以 内)
	いもち病 白葉枯病 いねズグウムシ ウカ類 いねトイムシ カメイユウ イゴ類		は種時 (覆土前)		育苗箱の 床土に均一に散 布する		

当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生じるときは、その旨及び内容

第8項 使用上の注意事項に（2）として以下を追加し、以降を繰り下げる。

- (2) 本剤を育苗床土に混和する場合には薬害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守すること。
- ① 山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用すること。
  - ② 粒剤を混和した床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用すること。
  - ③ 粒剤が破碎されるような過度な混和は避けること。

#### 【変更前】

#### 8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 本剤処理後の低温で生育抑制を生じる恐れがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめること。
- (3) 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (4) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意すること。
- (5) 本剤処理済みの苗を移植した本田では、薬害を生ずるおそれがあるので、DCPA 剤の使用はさけること。
- (6) 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけること。
- (7) 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。
- (8) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【変更後】

#### 8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 本剤を育苗床土に混和する場合には薬害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守すること。
  - ① 山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用すること。
  - ② 粒剤を混和した床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用すること。
  - ③ 粒剤が破碎されるような過度な混和は避けること。

- (3) 本剤処理後の低温で生育抑制を生じる恐れがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめること。
- (4) 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (5) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意すること。
- (6) 本剤処理済みの苗を移植した本田では、薬害を生ずるおそれがあるので、DCPA 剤の使用はさけること。
- (7) 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけること。
- (8) 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。
- (9) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。